

# 「シンガポール研修 参加報告」 その1

研修期間:平成26年10月15日(水)~19日(日)

マレーシア・ジョホールバルの高校訪問 & マレーシア文化村

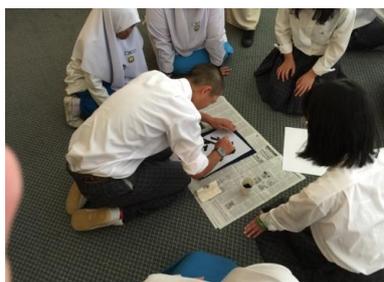
日 時: 平成26年10月16日(木) 場 所:マレーシア・ジョホールバル

関高校から15名が参加し、マレーシアの高校と交流会を実施しました。

- 初日は1日かけてシンガポール航空でシンガポールに入りました。6時間半の空の旅です。時差は1時間だけシンガポールの方が遅いです。現地の日本人ガイドさんにホテル周辺を案内していただき、近くのホーカーセンターと呼ばれる屋台で各自食事、いきなり英語力が試されました。
- 2日目は国境を越え、隣国マレーシアのジョホールバルを訪れて現地の高校生との交流会を実施しました。皆、とても暖かく迎えてくださり、プレゼント交換・両国の伝統文化の紹介、交流会など盛り上がりました。日本からは書道と相撲と歌「ふるさと」を紹介しました。マレーシアからは武道の組み手の実演を見せていただきました。



最初の挨拶



書道の紹介



マレーシアのゲーム・文化

- 1人1人の隣にバディがついて、最初の挨拶です。まだ皆、緊張していました。
- 書道の紹介では日本語で相手の名前などを書いて贈りました。
- 1人1人にバディがついて、マレーシアの伝統的なゲーム、文化などを紹介していただきました。



マレーシアの民族衣装



記念写真



マレーシアの高校生と

- 民族衣装を着させてもらいました。同じアジア系民族だからか、良く似合いました。
- 最後に記念の集合写真を撮るころにはすっかり打ち解けました。

- 午後はマレーシア観光を兼ねた研修です。マレーシア文化村を訪れ、マレーシアの産業、文化などを勉強しました。



特産のゴムの木などの植物園で



民族舞踊を見せていただきました

- シンガポールとマレーシアは隣国です。橋一本でつながっています。橋の両端にそれぞれの国の税関があり、両方を通過しなければなりません。どちらの国も1年を通して気温が30°C。突然の雨(スコール)が多く、私たちも4日間の滞在中、何度も通り雨に降られました。
- スーパーに並ぶ商品や、自動車、建築物など日本製の物が多く、色々な人種の人たちが暮らしていますが、中国系の方を中心に私たち日本人と区別のつかない場合が多いので、言葉以外は不安を感じない国でした。特にシンガポールは建築ラッシュで近代的な高層建築物が多く、とても綺麗でした。



マレーシアとシンガポールをつなぐ橋  
真ん中に見える黄色いマークが国境



シンガポールは、ほとんどの人たちがアパート暮らしで家賃も高い



ホテル近くのスーパー  
見慣れた商品が?



都会的なシンガポールの街  
マリーナベイサンズとマーライオンを背景に

## 「シンガポール研修 参加報告」 その2

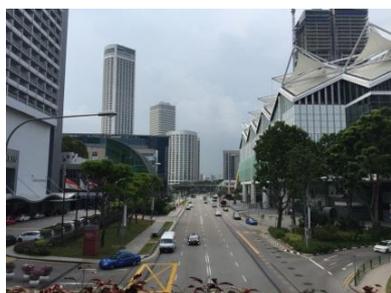
研修期間:平成26年10月15日(水)~19日(日)

シンガポール Oishi JAPAN (おいしいジャパン) 関商工会議所ブースに参加

参加日時:平成26年10月17日(金)・18日(土) 場所: サンテックシンガポール国際会議展示場

### 関市関連ブースにおいて来訪者へ関市の紹介や、刃物の販売などを行いました！

- 3日目と4日目の午前中は、「おいしいジャパン」会場で、関商工会議所の皆さんに協力いただき、刃物などの展示・説明のお手伝いをしました。
- 4日目は一般のお客さん方がたくさん見えて、刃物の実売を行いました。英語での対応にも慣れ積極的にお客さんに話しかけていきました。



サンテック国際会議場(右手)



尾関 関市長さんとの記念撮影



持参したパンフレットの配布

- 会場のサンテック国際会議場には尾関関市長さんも来場されました。
- 学校から持参した関市と学校を紹介する英語のパンフレットをあっという間に配り切りました。



農協の岐阜県産こしひかり



英語による刃物の説明



関市の刃物の販売

- 農協の出展している岐阜県産こしひかりでおにぎりを握りましたが、これもすぐ売り切れました。
- 来訪者に英語で刃物の説明をしました。緊張の瞬間です。
- 2日目は慣れたもので？**どんどん商品が売れていきました。**

お世話になった関商工会議所の皆さん、ありがとうございました。

■ 生徒の感想から(抜粋)

「相手に伝えようとする姿勢」がコミュニケーションをとるうえで、最も大切だとシンガポール研修を通して感じました。

私たちは、『Oishii JAPAN』という食品見本市で関市の刃物のPRを手伝いました。ブースに来てくださったお客さんの言っていることが分からなくて、困ることもありました。でもそんな時は、周りの子達と協力して、自分たちが理解できるように、そして相手にも理解してもらえるように努力しました。これは1人ではできなかったことです。だから、一緒に研修に行った15人に本当に感謝しています。そしてこんなにも貴重な体験をさせてもらったことに感謝し、今回学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。

「最高に楽しかった」シンガポール研修を振り返ってみると、この言葉に尽きます。しかし、初めて行く異国の地は日常とはかけ離れ過ぎていました。～顔立ちや肌の色、宗教が異なる人々のコミュニケーション～ **最初は外国の人々との会話に不安がありました、そんなものは今はありません。**「外国の人々は私たちに冷たい」そんな間違っただけの考えを変えてくれたのは、マレーシアの学校の生徒達です。笑顔で私たちを迎えてくれた彼らは、親身になってマレーシアの伝統的な遊びを教えてくださいました。特に印象的だったのが、私が分からない単語をわかりやすく言い換えてくれたことです。一生懸命にやってくれていることが分かって、嬉しいなと思いました。

**海外生活への不安がなくなったと同時に、海外への憧れがさらに強まったのも実感しました。**見たことない風景、食べたことのない料理、嗅いだことのない匂い、あらゆるものへの興味がふつふつと湧いてきます。また、私たちを案内してくれた、日本人のガイドの阿南さんが頑張る姿を見て、ひたむきで素敵だなと思いました。だから、**私は将来は海外で働く決めました。大切にするのは日頃の英語学習です。いろいろな文章と出会って、読んで話して書いて、最後には目標を必ず達成します。**



たった5日間の海外研修でしたが、  
生徒達はこの5日間でたくさんの経験をし、大きく成長しました。